

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	学校法人ミスパリ学園
設置者名	ミス・パリエステティック専門学校名古屋校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	トータルビューティ学科	夜・通信	360	160	
	エステティックマスター学科	夜・通信	210	80	
	スパ・セラピスト学科	夜・通信	450	80	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/">https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ミス・パリエステティック専門学校名古屋校
設置者名	学校法人ミスパリ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/info/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士	2020年4月1日 ～ 2022年3月31日	法的確認とアドバイス
非常勤	大学教授	2020年4月1日 ～ 2022年3月31日	元大学教授の観点から教育内容の確認とアドバイス
非常勤	会社役員	2020年4月1日 ～ 2022年3月31日	経営的観点からのアドバイス
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ミス・パリエステティック専門学校名古屋校
設置者名	学校法人ミスパリ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

トータルビューティ学科（2年制）、エステティックマスター学科（1年制）

【作成について】

各学科・各授業科目について毎年度末に学科内会議にて、授業科目の設定及び講義内容についての検討・検証を各種アンケート分析結果に基づき協議し作成を行っている。

《検討・検証の機会》

**学校会議**（3月、6月、9月、12月に開催）

姉妹校幹部が集まり、理事長及び総務・広報部長と共に学校運営の振り返りと今後の検証を行うもの

**教育課程編成委員会**（学科別6月、11月に開催）

専門分野に関する動向や、新たに必要とされる知識、技術及び技能など十分に把握、分析した上で、該当課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設や授業方法の改善、工夫を行うなど、企業その他関係機関等の要請に応じた実践的かつ専門的な職業教育が実施されるための教育課程の編成を目的とする委員会。

学内教員向け内規にて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全校全科目共通で記載する事が必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。

【作成時期について】

翌年度の授業計画は1月までに担当教員が作成し、3月の学校会議・理事会での議案で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。3月中に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。

授業計画書の公表方法 | <https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験（レポート含む）により成績評価を行っている。

(参考)

学生の手引き

③ 進級・卒業

授業への出席率が80%以上（履修）、且つ前期・後期試験で合格した者に当該科目の単位取得を認める（修得）。

前期・後期における「全科目の履修と修得」を、進級・卒業の認定条件とする。

(1) 授業出席と未履修者の補講

各授業の出席率は80%以上でなければならない（履修条件）。

また、出席率が満たない者（未履修者）は補講申請を行わなければならない。

\*補講申請 → 審査・承認 → 学校が定めた期間の補講（不足授業時間の補完）

補講を完了した者は追試験の受験ができる。補講は当該年度内の実施とする。

不足授業時間数を補いきれない場合は、再履修となり進級・卒業は延期される。

補講料金は別途徴収する。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  学則の細目にて、授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。学習成績の評価はA、B、C、D、Eを以って示し、A、B、C、Dを合格、Eを不合格とする。  当校では各授業の評価を100点満点を基準として、70点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90点を「A」、89～80点を「B」、79～70点を「C」、追試合格を「D」、不合格を「E」として、成績が通知される。成績の分布は履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)  成績評価方法については、学則細目をHPで公開するほか、入学時オリエンテーション及び保護者会で入学生とその保護者に通知している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/">https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナル」を基に、エステティシャン・美容師・アイリスト・ネイリスト等の一流の技術と一流の接客を主とする職業専門家を育成し、その意義をもって社会に貢献する事を目的としている。  卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格する事を定めている。詳細については学則細目、学生の手引き等に記載している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/">https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ミス・パリエステティック専門学校名古屋校
設置者名	学校法人ミスパリ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所に刊行物として設置
収支計算書又は損益計算書	事務所に刊行物として設置
財産目録	事務所に刊行物として設置
事業報告書	事務所に刊行物として設置
監事による監査報告（書）	事務所に刊行物として設置

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		エステティック専門課程	トータルビューティ学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2085時間	1035時間	時間	180時間	時間	870時間
			2085時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
182人		148人	0人	6人	2人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号の3-1【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 理論（一般科目）、理論（専門科目）、実技理論、技術の4種類に分け前期、後期で実施
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3-2【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 A・B・C・D・Eを以って示し、A・B・C・Dを合格、Eを不合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第2号の3-2・3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 成績評価に基づき、終業年限在学し、必要授業時間数を終了したもの。
学修支援等
（概要）様式第2号の3-4【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応（電話・メール・保護者との3者面談）年間2回、担任による定期的面談に加え、随時2者面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	1人 ( 1.6%)	59人 ( 96.7%)	1人 ( 1.6%)
（主な就職、業界等） エステサロン・化粧品メーカー・ホテル			
（就職指導内容） キャリア教育授業（年間10回） 合同企業説明会 履歴書添削 面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等））ビューティセラピスト（JEO認証上級資格）認定 エステティシャン メイクアップ技術検定 サービスマナー検定 ダイエットプロフェ ッショナル I P S Nジュニアビューティシャン ネイリスト技術検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
148人	27人	18.2%
（中途退学の主な理由） 学校生活への不適合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個別面談・保護者との3者面談・転科・企業紹介等の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		エステティッ ク専門課程	エステティックマス ター学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	1年		講義	演習	実習	実験	実技
	昼間	1020時間	390時間	時間	120時間	時間	510時間
			1020時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		0人	人	1人	人	1人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 様式第2号の3-1【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 理論（一般科目）、理論（専門科目）、実技理論、技術の4種類に分け前期、後期で 実施							
成績評価の基準・方法							

(概要) 様式第2号の3-2 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 A・B・C・D・Eを以って示し、A・B・C・Dを合格、Eを不合格とする。			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 様式第2号の3-2・3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 成績評価に基づき、終業年限在学し、必要授業時間数を終了したもの。			
学修支援等			
(概要) 様式第2号の3-4 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応(電話・メール・保護者との3者面談)年間2回、担任による定期的面談に加え、随時2者面談			
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (87.5%)	0人 (0%)	7人 (87.5%)	1人 (0%)
(主な就職、業界等) エステサロン			
(就職指導内容) キャリア教育授業 合同企業説明会 履歴書添削 面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビューティセラピスト(JEO認証上級資格) メイクアップ技術検定 サービスマナー検定 ダイエットプロフェッショナル IPSNジュニアビューティシャン ネイリスト技術検定			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
8人	1人	12.5%	
(中途退学の主な理由) 学校生活への不適合			
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個別面談・保護者との3者面談・転科・企業紹介等の実施			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		エステティック専門課程	スパ・セラピスト学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年		1260時間	540 間	時間	時間	時間	720 間
			1260時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	0人	人	人	0人	0人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号の3-1【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 理論（一般科目）、理論（専門科目）、実技理論、技術の4種類に分け前期、後期で 実施
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3-2【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 A・B・C・D・Eを以って示し、A・B・C・Dを合格、Eを不合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第2号の3-2・3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 成績評価に基づき、終業年限在学し、必要授業時間数を終了したもの。
学修支援等
（概要）様式第2号の3-4【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】参照 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応（電話・メール・保護者との3者面談）年間2回、担 任による定期的面談に加え、随時2者面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			



(備考) (任意記載事項)		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	実習費	施設設備費・教材費
トータルビューティ学科	100,000円	690,000円	70,000円	580,000円
エステティックマスター学科	200,000円	1,080,000円	70,000円	350,000円
スパセラピスト学科	100,000円	490,000円	500,000円	610,000円
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ <a href="https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/info/">https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/info/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
① 教育に対する熱意等に関するアンケートを取り、教育内容や姿勢に関する見直しを随時行う事とする。		
② 卒業生あるいは保護者に対しても同様のアンケートを行う事により、更に充実した職業専門教育を目指す。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
NPO 法人日本スパ・ウェルネス協会 教育委員長 田邊 秀子	平成31年4月1日～令和2年3月31日	業界等委員
株式会社シェイプアップハウス 取締役 平山 浩篤	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
株式会社ミスパリ 総務部部长 杉原 昭二	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ <a href="https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/info/">https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/info/</a>
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ <a href="https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/info/">https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/info/</a>
---

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	学校法人ミスパリ学園
設置者名	理事長 下村 朱美

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		11 人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	8 人	人	/
	第Ⅱ区分	2 人	人	
	第Ⅲ区分	1 人	人	
家計急変による支援対象者 (年間)		/	/	人
合計 (年間)		/	/	人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下 のものに限る。）	
		年間	前半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	人	人	人
計	人	0人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専
---------	--

		門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期

修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	人	人	人
G P A等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	0人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。